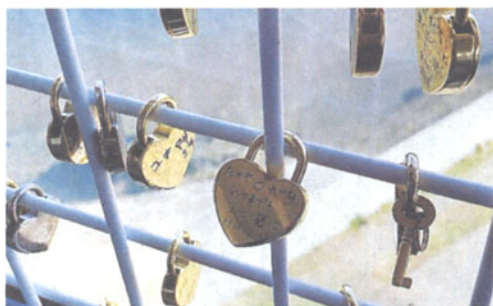


地上105^{メートル}に恋人の聖地

千葉市役所、警察署、法務局などが並ぶ官庁街にある駅。様々な「仕掛け」が



千葉ポートタワーにある「恋人の聖地」には、愛を誓った証しの南京錠が連なる。千葉市中央区

実り、しゃれたウォーターフロントに変身中だ。

駅の南西には地域のシンボル、高さ125^{メートル}の千葉ポートタワーがそびえる。

その2階、と言っても地上105^{メートル}に、2011年にNPO法人が認定した「恋人の聖地」がある。南京錠に2人の名前を書いて網にロックし、愛を誓う場だ。

タワーは市が管理する施設で、展望フロアから海越しの富士山を堪能でき、湾岸工業地帯の工場夜景も美しい。しかし来館者は低迷。そこで市に委託された管理会社の施設事務局長、北畑隆二さん(60)が「男女

の集い」に着目。全国各地の観光地を対象に「聖地」を広げる活動をしているNPOに働きかけた。

タワーの眼下では県と市が旅客船桟橋を建設中。近くでレストラン「オーシャンテーブル」を運営する山友浩司さん(50)は、船の発着所脇にシーフードレストランを建て、中に縦横4×10^{メートル}、高さ8・5^{メートル}の巨大水槽を設置する構想を持つ。魚を泳がせ、時にはダイビング練習場にと斬新な案を練る。「それぞれが仕掛けを考え、それが足し算されれば、魅力的な街になる」

(木村浩之)